



あたらしい本



いちぶ しょうかい かしだしかいし
一部を紹介します。26日(金)から貸出開始します！

『考古学者が発掘調査をしていたら、怖い目にあった話』

おおしろみちのり しばたこういちろう かくどうりょうすけ
大城道則・芝田幸一郎、角道亮介 (ポプラ社)

エジプト・シリア、中国、ペルーで発掘調査を行ってきた考古学者たちが遭遇した命がけのエピソード。墓石に閉じ込められたり、人骨と過ごしたり、砂漠で遭難しかけたり、初めての食体験や恐怖のトイレ事情など、あらゆる角度から「怖い」を集めた冒険エッセイ。

『たった3分間のすごい世界』大崎章弘 (えほんの杜)

ウルトラマンが地上で戦える時間、ラジオ体操、カップ麺が完成するまでの時間、3分間クッキングに3分間スピーチ…人間の周辺に多い「3分間」という時間の単位で様々な事象を切り取ってみれば、面白いことが見えてくる。「世界では3分間に何人生まれ、何人死ぬのか」「キツツキは3分間で何回くらい木をつつくのか」「竹は3分間でどれくらい伸びるのか」など。

『中学校の授業でネット中傷を考えた』宇田川はるか (講談社)

指先だけで瞬時に人を傷つけ、激しい言葉で人の命まで奪ってしまうことがあるネット上の誹謗中傷。現代社会の問題に取り組んだ中学校での特別授業の記録。自ら命を絶ったプロレスラー・木村花さんの母・響子さんが千葉県千葉県の小学校で行った特別授業の全容も掲載。

『ぼくが消えないうちに』A.F.ハロルド (ポプラ社)

ラジャーはアマンダの想像から生まれた「見えない友だち」。ふたりはいつも一緒に楽しい時間を過ごしていたのに、ある日突然アマンダがいなくなってしまう。生み出してくれたアマンダに忘れられてしまうと、ラジャーはこの世から消えてしまう。アマンダを取り戻すための旅が始まる。
えいが やねうら げんさくしょうせつ
映画『屋根裏のラジャー』の原作小説。



